

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3 総合的な防災対策と危機管理体制の充実	② 施策番号	6301
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 防災対策の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
上下水道部	下水道整備課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	砂防等防災に関わる職員
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	砂防に関する知識等を深めることで、危機管理体制の充実を図る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	ゲリラ豪雨等、今までにない大雨が増えている中で、砂防事業の強化が望まれている。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 砂防講習会等参加回数 計算式:	回	講習会等に参加することで防災(砂防)に対する知識を深め、災害発生時に適切な対応ができる。
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 砂防講習会等参加回数	回	目標値	4	4	3	3	3
		実績値	2	2	2	—	—
		達成率	50.0%	50.0%	66.7%		
②		目標値					
		実績値					
		達成率					
③		目標値					
		実績値					
		達成率					

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	防災事業	参加回数(講習会等)	回	2	2	3	219	906	910	A	ア	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						219	906	910			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	防災情報・関連知識を蓄え、危機管理体制の充実を図る。加えて、自助・共助による地域防災力の向上により、防災対策の充実を図る。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	開催される講習に適正に参加している。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	危機管理体制の強化には、住民による自主防災組織が必要不可欠である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	概ね適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	きちんと参加し、知識・情報を獲得する。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	C	講習会等に参加することで防災(砂防)に対する知識を深め、災害発生時に適切な対応ができるよう努めているが、総合的な防災対策については、多数の職員の取り組み、住民参加、多額の費用等が発生する。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	担当職員が最新の砂防防災情報等を把握する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	職員一人ひとりが砂防に関する知識を熟知する。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	砂防に関する知識を熟知した職員を増やす。中長期的な危機管理体制の充実。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	C	講習会等の参加により防災情報・関連知識の習得が図られ、災害発生時に適切な対応ができるよう努めており、施策は適切に行われている。 今後は、講習を受けた職員から他の職員、住民へ防災に関する知識を広げる取組について検討されたい。	